

ロシアのウクライナに対する戦争と国際スポーツに関する声明（第4回）

我々、志を同じくする国々のスポーツ大臣および高級実務者は、2023年3月28日に国際オリンピック委員会（IOC）が発出したロシアとベラルーシのパスポートを有する中立の個人選手およびサポート要員に対する国際スポーツ大会の推奨参加条件及びそれに付随するプレス声明に留意する。我々は、オリンピック休戦を二度も破ったロシア政府が、野蛮でいわれのないウクライナへの侵攻を正当化するためにスポーツを使うことは許されず、ベラルーシ政府もまた、ロシアの侵略戦争においてその共謀を正当化するためにスポーツを使うべきではないことを主張する。

IOCの勧告において、2023年2月21日の我々の共同声明で提起した強い懸念のうち、いくつかの側面がIOCによって対処された一方で、アスリートの軍との関係、国費による支援、チームを構成することの定義、及び実施のメカニズム関連に限らず、本質的な問題が残されていることは明らかである。

我々は、我々の立場がパスポートに基づく個人に対する差別というものではないことを再度強調し、そして、オリンピック憲章に従い、全てのアスリートがいかなる差別なく扱われる権利を尊重する。IOCもまた、勧告を通して確認を求めているとおり、我々は、公平なスポーツ競技及びロシアとベラルーシのアスリートが決して国家の代表として出場しないことを確認することに焦点を当てている。

スポーツ団体の自主性を十分に尊重する一方、我々は今後数週間にかけてのIOCや国際競技団体による勧告の実施を注視していく。もし、これらの問題が対処されない場合、我々はIOCがそのアプローチを再考することを期待する。

2023年5月4日発出

署名国：

アルバニア共和国・オーストラリア連邦・オーストリア共和国・ベルギー王国・ブルガリア共和国・カナダ・クロアチア共和国・キプロス共和国・チェコ共和国・デンマーク王国・エストニア共和国・フィンランド共和国・フランス共和国・ドイツ連邦共和国・ギリシャ共和国・アイスランド共和国・アイルランド・イタリア共和国・日本・大韓民国・ラトビア共和国・リヒテンシュタイン公国・リトアニア共和国・ルクセンブルク大公国・オランダ王国・ニュージーランド・ノルウェー王国・ポーランド共和国・ポルトガル共和国・スロバキア共和国・スロベニア共和国・スペイン王国・スウェーデン王国・ウクライナ・英国・アメリカ合衆国